

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020030

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	1	推進体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	社会体育団体活動費助成事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	団体数		関係課	#N/A		
事業目標	体育連盟～20 スポーツ少年団～4		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	スポーツ団体の加入・育成	関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	体育連盟・スポーツ少年団の育成、活動支援に努めるとともに自主的、主体的な活動を促す。	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	
	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,700	540	540	540	540	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	2,700	540	540	540	540
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,700	540	540	540	540	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
		一般財源	2,700	540	540	540	540
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		【評価・実績】	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成	
		年度達成率	100%	100%	100%	100%	
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	40%	60%	80%	100%	
	備考欄						

事業名	社会体育団体活動費助成事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	体育連盟、スポーツ少年団本部	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加盟団体の維持	
【抱える課題やニーズは】	町内の各スポーツ団体・少年団の活動活性化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内の各スポーツ団体・少年団は、いずれも自主財源に乏しいことから、体育連盟及びスポーツ少年団本部を通じて活動費の一部を助成することにより、活発な活動を促す。	① 体育連盟加盟団体数	目標年度	平成29年度
			目標値	14 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	スポーツに親しむ町民が増えるとともに、スポーツを通じて地域の活性化を図られる。	② スポーツ少年団加盟団体数	実績値	14 団体
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	団体への助成	体育連盟400千円・スポーツ少年団140千円	目標年度	平成29年度
			目標値	3 団体
			実績値	3 団体
			達成度	100.0 %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町内の各スポーツ団体及び少年団は、スポーツ活動を通じた地域の活性化や将来の指導者を育成する役割を担っていることから、基幹団体となる体育連盟及びスポーツ少年団本部を通じた育成・支援は、教育行政が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	体育連盟及びスポーツ少年団本部の主催事業は実施されていないが、その加盟団体は、主催事業や参加事業などを通じて主体的な活動を行っており、期待した効果が得られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業内容、予算及び決算を精査し、適正な助成を行っていることから、効率性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> その他	
効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

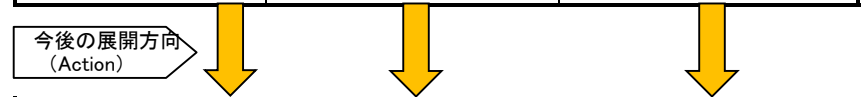
公平	判断の理由	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体に対する助成であることから、公平性は保たれている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> その他	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
体育連盟及びスポーツ少年団本部の主催事業は実施されていないが、その加盟団体は活発に活動しており、本町のスポーツ振興に寄与している。		



継続/現状維持		
本町のさらなるスポーツ振興のため、各スポーツ団体・少年団の育成・支援を担う本事業は継続していく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止